

2 年探究科「探究実践 I」 指導者向け（主担当） 年間指導マニュアル（指導書）

～指導マニュアルの使い方～

探究実践 I で全体のとりまとめ役の先生向けの指導書（マニュアル）です

①年間計画

日付を入れた年間計画一覧表を作成（教員・生徒と共有）

（全 30 回分で作成 余った時間は研究に充ててる）

②各授業、打ち合わせ会、イベントでの使用資料雛形

指導者用

指導担当の先生方への連絡&指示

→指示や連絡内容は各回のレジメに記載

生徒指示用

生徒への指示

→GoogleClassroom に記載

配布資料

指導者・生徒への配布資料 他

☆年度ごと、年間行事予定や外部発表の日取りなどが変わるので

その年度に応じて修正を行う

探究実践 I 年間スケジュール

月	回	内容	
前年		課題・テーマ発見ワークショップ(済) 仮グループ結成	
4	1	ガイダンス(年間計画 コンテスト 実験室の使用) ●研究室訪問 / 研究計画書作成開始	
	2	先行研究調査(自他校の研究集録も活用)	
5	3	☆研究計画書提出	5月下旬メ切 飯山市チャレンジ SBC 学校科学教育 奨励金
	◎指導担当者会①:指導担当グループの割り振り		
	4	計画発表会ガイダンス ☆実験使用物品リスト作成・提出	
	5	計画発表会準備 ●グループ内・指導担当者と発表リハーサル	
SSH探究の日			授業公開
6	6	● 研究計画発表会(ポスターセッション) ☆発表資料提出 ●指導担当者と発表会後の研究討議 *第1回SSH変容調査・ルーブリック評価	第1回 SSH 運営指導委員会
	7	*【ルーブリック評価①】グループ担当による個別面談	
	8,9	各グループ研究 ●毎時間指導担当者と「報告タイム」	
	◎指導担当者会②:担当グループの指導状況の共有、情報交換		
	文化祭 ポスター展示観覧(先行研究調査)		文化祭
7	10	ガイダンス:懇談会・夏季休業中の実験室使用について ●報告タイム	
	懇談会・夏季休業中の研究活動		
8	11	中間発表に向けたガイダンス ●報告タイム	
	科学エキスパート講座(信州大学)参加 専門性の高い実験スキルの習得		信州大学
	12	中間発表要項配布 ●報告タイム	

月	回	内容	
9	13	● 中間発表会①(ポスターセッション) ☆発表資料提出 ●指導担当者と発表会後の研究討議	
		◎指導担当者会③:担当グループの指導状況の共有、情報交換	
		2年サイエンスツアー 長野県学生科学賞展覧会 観覧 長野県課題研究交流会(信州大学)参加	東京大学木曾天文台 信州大学 長野県教育委員会
10 ~ 11	14 ~ 20	各グループ研究を展開 ●報告タイム	11月 科学の甲子園
	19	中間発表会②ガイダンス(12月探Qフェスティバル推薦について)	
	20	中間発表会②要項公開	
	21	● 中間発表会②口頭発表 ☆発表資料提出 ●指導担当者と発表会後の研究討議 *第2回SSH変容調査・ルーブリック評価	
		探Qフェスティバル 総文予選 出品手続き	
12	22	*【ルーブリック評価②】グループ担当による個別面談 物品購入メ切(12月中)	
		探Qフェスティバル(全国総文祭県予選)	長野県教育委員会
	23 ~ 25	◎指導担当者会④:探究科課題研究発表会に向けた打ち合わせ ●報告タイム	
		懇談会中の研究活動	
1	26	探究科課題研究発表会 ガイダンス	
	27	研究要旨 発表資料事前提出 メ切	
		審査員事前審査	
2	28	●指導教員と発表リハーサル	
	29	● 課題研究発表会 口頭発表 ☆発表資料・実験ノート提出 *第3回SSH変容調査・ルーブリック評価	
	30	*【ルーブリック評価③】グループ担当による個別面談	
		◎指導担当者会⑤:指導振り返り・代表グループ推薦・成績	
		信州サイエンスミーティング参加	長野県教育委員会 信州大学
3		● 課題研究合同発表会 @飯山市文化交流館なちゅら	第2回SSH運営指導委員会

指導者用

2年 探究実践Ⅰ 第Ⅰ回

【会場】

大講義室・各研究室

【内容】

①ガイダンス

配布資料をもとに説明

- ・年間計画
- ・研究予算について(研究助成など)
- ・大会等
- ・指導担当教員の紹介

先生方をお願い

ガイダンスにて

自己紹介&「専門分野」「過去の指導テーマ」「興味のある」テーマを簡単にお話してください

研究テーマのご提案も歓迎します! 専門・趣味・部活 etc…なんでも OK です

興味を持った生徒が、この後②で先生方のもとを訪ねる予定です。

②生徒による「先生訪問」

①での先生方の「興味のあるテーマ」に対し、生徒が相談に行くかもしれません。

まずは「ユルっと」相談に乗りながら、研究テーマの具体化に向けてディスカッションをお願いします。

【終了後】

16:40～ 指導担当の先生方で短時間打ち合わせ

生徒用 (GoogleClassroom)

第Ⅰ回 課題研究テーマ・ガイダンス・先生訪問

会場:大講義室

内容:担当教員の紹介

年間計画

先生訪問と課題研究テーマを考える

持ち物:筆記用具、タブレット

～当面の目標～

第3回の授業までに研究チームとテーマが決定し『研究計画書(確定版)』を提出する

第1回 ガイダンス配布資料

(1) 先輩たちの論文(冊子)を読む

飯山高校探究科課題研究集録 (3年次に執筆) 飯山高校探究科の研究論文が読める。

SSH生徒研究発表会要旨集 (3年次に飯山高校から代表1チームが出場)

わたしの見つけた ふしぎな世界 (長野県学生科学賞作品展覧会報告書) ★1冊ずつしかない

長野県学生科学賞で入賞した研究論文(小中高)が掲載されています。

☆このほか、全国のSSH指定校や理数科の「課題研究論文集」ライブラリがあります

☆全国のSSH指定校のHPに論文などが掲載されています

JSTのHPからアクセス <https://www.jst.go.jp/cpse/ssh/school/list.html>

(2) 日本の科学者の論文をインターネットで調べる *キーワードを入力してみよう!

CiNii Articles 日本の論文をさがす <http://ci.nii.ac.jp/>

学協会誌や研究紀要など膨大な論文情報の中から、目的の論文や書籍を探することができる。CiNii

PDF-オープンアクセスからそのまま論文が表示されるもの、あるいは機関リポジトリや外部の学会などにある本文がPDFで閲覧できるものがある(一部有料)。J-STAGEにもリンクしている。

J-STAGE <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja/> 学会誌に投稿された論文を閲覧

(3) 研究予算を自ら獲得しよう!

飯山市高校生チャレンジ活動支援事業 (5月中旬×切 5月下旬にプレゼン審査あり)

「長野県学校科学教育奨励基金」 (5月締切) → 「SBC 学校科学大賞」のこと

(4) SDGsからテーマを考える

学校のための持続可能な開発目標 (わかりやすい) <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

SDGs(持続可能な開発目標)とは何か?17の目標をわかりやすく解説 | 日本の取り組み事例あり

<https://miraimedia.asahi.com/sdgs-description/>

(5) コンテスト・大会を目指す

長野県探Qフェスティバル(全国高等学校総合文化祭県予選) (2年生12月)

信州サイエンスミーティング (2年生3月) 長野県内の高校生による課題研究発表会

CMA 中高生のための英語プレゼンコンテスト (2年12月)

長野県学生科学賞 (3年生8月)

SSH生徒研究発表会 (3年生8月) 全国SSH指定校が対象。飯山高校から代表1チームが参加。

指導者用

2年 探究実践 I 第2回

【会場】

大講義室・各研究室

【内容】

①研究計画&先生訪問

【生徒】

- ・前回のガイダンスを受けて「研究計画・研究チーム」結成に向けて活動する
☆先生方のもとを訪れ(最低2名)、研究テーマについてディスカッション!
→訪問レポートにサインをもらい、授業後に提出

【先生方】

- ・大講義室へお越しいただく or 研究室で待機
- ・生徒が訪問してきたら、研究テーマについて助言・指導
→レポートにサイン
- ・研究チームの指導担当割り振りは 月 日以降に行う
(それまでどのチームにもちょっかいを出していただいて構いません。)

【配布資料】【提出物】

先生・研究室訪問 レポート

生徒用 (GoogleClassroom)

第2回 研究計画・先生訪問

会場:大講義室

内容:先生訪問と課題研究テーマを考える

持ち物:筆記用具、タブレット

課題:先生訪問レポートを作成し、授業後に提出

第2回 配布資料・提出物

探究実践I

先生・研究室訪問 レポート

年 組 番 氏名

現在考えている研究テーマ・興味関心のあること

--

ディスカッション・メモ(先生方からの助言など)

--

指導サイン

指導サイン

授業終了後（ ）へ提出

指導者用

2年 探究実践 I 第3回

【会場】大講義室

【内容】研究グループとテーマを決定し、計画書を作成する（先生方にアドバイスをもらう）

【提出物】【配布物】

- ・『研究計画書（確定版）』雛形（別紙）
 - ・研究グループで1部提出
→集約し、指導担当者打ち合わせへ（指導者割り振り）
- *GoogleClassroom に課題を設定し、雛形配布と提出管理

探究実践 I

指導担当者打ち合わせ会①

【内容】

- ・指導担当テーマの割り振り
- ・物品購入についての説明
- ・今後について（研究計画発表会）

【お願い】

- ・生徒から提出された「研究計画」の冊子をお渡しします。
指導担当の希望テーマをある程度決めておいていただければと思います。
（理数系以外の先生のグループには、サブで理科が入る予定です）

生徒用 (GoogleClassroom)

第3回 研究計画書の作成&完成へ

会場:大講義室

内容:先生訪問と課題研究テーマを考える

☆研究グループとテーマを決定し、計画書を作成する

持ち物:筆記用具、タブレット

提出物:『研究計画書（確定版）』を作成し提出（提出先リンク）

(**テーマ・タイトルを記入**) **研究計画書【確定版】**

メンバー (フルネームで記入)

1 研究テーマ

2 背景・動機

3 目的・目標(特に力を注ぐ点)

4 仮説とその検証のために取得すべきデータ(行うべき実験)

5 方法 (なるべく図表や絵をつかって説明する)

研究計画書【確定版】

1 研究テーマ

飯山高校付近で過去にどのような災害があったのか探る

2 背景・動機

飯山市の千曲川では台風 19 号により洪水を起こし飯山市内に災害をもたらした。またこの災害以前にも洪水が頻繁に起こっていた記録が残っている。飯山高校付近で過去にどんな災害が起きていたのか知りたいと感じこの研究をはじめた。

3 目的・目標(特に力を注ぐ点)

飯山高校付近の堆積物を観察することで過去の災害について探る。

4 仮説とその検証のために取得すべきデータ(行うべき実験)

仮説: 飯山高校の土地では千曲川や皿川の洪水の影響を少なからず受けている。

取得すべきデータ: 飯山高校直下の堆積物の粒度変化や礫種 飯山高校周辺の山や川の礫種

5 方法 (なるべく図表や絵をつかって説明する)

1,ボーリングコアの観察

積物の粒度,堆積構造,ラミナの観察を行い柱状図にまとめる。

2,礫種の解析

ボーリングコア内の礫の形,大きさや礫を構成している鉱物の種類などを観察する。

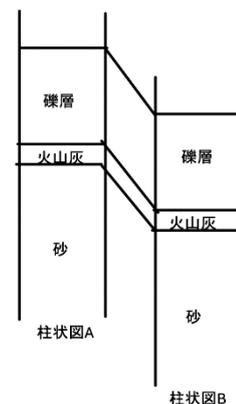
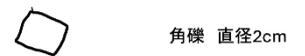
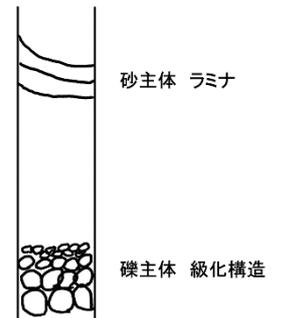
3,飯山市周辺の礫種の解析

2での礫種の分析を飯山高校周辺の山や川にある礫と比較する。

4,柱状図の比較による堆積環境の考察

ボーリングコアまたは柱状図の比較(堆積物の性質や礫種など)を行い堆積環境を考察する。

考察内容: 泥流,土石流の発生回数や頻度,また河川の流域の変化



研究計画書【確定版】

1 研究テーマ

古語「」の意味の移り変わり

2 背景・動機

古典の授業で、同じ単語でも現在と昔で意味が異なるもの(古今異義語)があることを知った。そして それらの単語の意味がいつ頃、なぜ、どのように変化してきたのかを研究したいと思ったため。

3 目的・目標(特に力を注ぐ点)

古語「」の意味の移り変わりを調べること

- ・いつ頃変化したのか
 - ・どのように現代での意味に変化してきたのか
 - ・なぜ変化したのか
- (・複数個調べて比較をする)

4 仮説とその検証のために取得すべきデータ(行うべき実験)

仮説

- 1いつ頃変化したのか・・・近代、明治時代
- 2どのように変化してきたのか・・・①段々と変化してきた
②あるときから明確に変化した
- 3なぜ変化したのか・・・①他に同じ意味を持つ単語が登場し、そちらが主流となった。
②有名作・ヒット作で「現代での意味」という意味で使われ、定着した。
③特に大きな理由はない・少しずつニュアンスが変化した。
④(変化の時期の仮説と関連させて)様々な文体が生まれる中で変化した

取得すべきデータ

文章中に「」が使われている作品とその使われ方(文中での意味)
+仮説3-①調査のために 旧「」と同じ意味を持つ他の単語のデータ

5 方法 (なるべく図表や絵をつかって説明する)

日本語のコーパス検索サイト『日本歴史コーパス「中納言コーパス」』を用いる。

・研究対象の単語の決め方

「古文単語330」で古今異義語を調べ、それらを中納言コーパスで検索をかける。
検索結果が最も多いものを研究対象とする。

(複数個調べる場合は、最も多かった単語と同じ品詞の次に多かったものから研究対象とする。)

・研究方法

- ①中納言コーパスで文中に「」が使われている作品を検索する。
- ②該当箇所を現代語訳し、「」の使われ方を調べる。まとめる。
- ③仮説にあたる部分はないか考察する。
活用形、時代ごと、出版順、作品ジャンル別にするなど、様々な見方をする。

指導者用

2年 探究実践 I 第4回

【会場】

大講義室→各研究室

【内容】

①物品購入ガイダンス

- ・(別紙) 物品購入について
- ・(別紙) 使用物品リスト *GoogleClassroom 掲載

②研究計画発表会 ガイダンス

- ・(別紙)

③計画発表会準備・購入希望リストの作成・先行研究調査など

生徒用 (GoogleClassroom)

第4回(5月13日)研究スタート&計画発表会へ!

会場:大講義室

内容

- ①計画発表会について
- ②使用物品について
- ③研究計画を担当の先生と具体化

持ち物:筆記用具、タブレット

第4回 配布資料

○課題研究での使用物品について

- ①学校で購入 (物によって、SSHまたは理科需用費)
- ②学校にあるもの (消耗品は足りなくなってきたら①の予算から購入)
- ③自分たちで調達 (生徒負担)

*食品扱いのものは③ (①での購入は原則 NG)

○物品購入のフロー (課題研究スタート時)

使用物品リスト作成【生徒】

- ・使うもの全部を記入
 - ①、②、③の分類をしてチェック
- ・仕様をはっきり書く (大きさ、個数、何個セット、純度、などなど)
 - 学校にあるカタログから
 - ×Amazon (モノタロウ、アスクルの Web ならギリ OK)

↓

指導教員チェック

- ・添削指導
- ・指導教員を通して粕谷 + へ提出

↓

(実習担当 会計) チェック

↓

使用物品リスト返却

- ・購入可能になったもの→購入手続きへ (理科・SSHが担当)
- ・リストの記載内容に不備→返却・再度記入または購入をあきらめる

○これ以降の購入について

購入物品の仕様を明確に【生徒】

↓

指導教員のチェック

↓

(実習担当 会計) へ提出 (指導教員より)

*予算の執行状況によっては購入できない場合もある)

探究科課題研究計画発表会(ポスターセッション) 開催要項

SSH 委員会
2年探究実践 I 担当

日 程 令和 ()年 月 日()
(13:40~ 会場準備)
14:00~ SSH 運営指導委員 受付 (控室:応接室)
14:30~15:40 探究科課題研究計画発表会
16:00~17:00 第1回 SSH 運営指導委員会

会 場 【研究計画発表会】大講義室
【運営指導委員会】大会議室

参加生徒 2学年探究科(3・4組)

授業計画と日程

4月 日() : ガイダンス 先生・研究室訪問(指導担当者とディスカッション)
5月 日() : 研究計画書作成
5月 日() : 研究スタート(必要物品のリストアップなど)
(5月 日(土) : SSH 探究の日(公開授業)でサロン訪問)

【当日】

月 日() : 「研究計画発表会」(探究実践 I) ☆運営指導委員による見学・助言指導
「SSH 運営指導委員会」(於 大会議室)

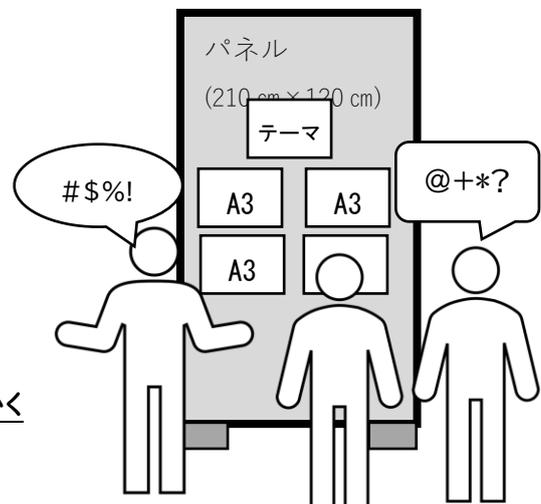
方 法

①ポスターについて

- ・課題研究チームごとポスター(A3またはA4を数枚分)を作成し、パネルに掲示する
- ・ポスターには次の要素を必ず含める
【タイトルで1枚】大きく目立つように!
 - ①研究動機・目的
 - ②先行事例
 - ③研究・実験方法 使用器具
 - ④今後の計画 他
- ・当日はポスターを用いて、研究計画を口頭で説明する

②発表について

- ・研究チームを【前半】【後半】の時間に分けてポスターセッションを実施
- 【助言者・先生方・発表していないチームの生徒】
 - ・興味のあるポスターへ行き、ディスカッション
 - 話した質問・意見は「付箋」に書き、ポスターに貼っていく
- 【発表チーム】
 - ・ポスターを訪れた人に、研究計画を説明&ディスカッション
 - ・発表会終了後、ポスターと貼ってもらった付箋ごと、写真に収め GoogleClassroom へ提出(付箋は Goodjob シートへ集める)



その他

研究テーマ一覧とポスターセッションの詳細なスケジュールは、当日の配布資料にてご案内します。

SSH 運営指導委員の皆様には、計画発表会の閉会行事にて、生徒に向けて講評をいただきたいと思っております。ポスターセッションでの質疑と併せて、生徒たちの今後の研究の励みになりますよう、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

指導者用

2年 探究実践 I 第5回

【会場】

大講義室・各研究室

【内容】

①【連絡】2年サイエンスツアー・希望調査(予備)について

大講義室で短時間説明をします

②計画発表会準備

計画発表会まで、探究実践 I の授業がもうありません!

各グループの「研究計画発表会」の準備について

特にスケジュール面のご指導をお願いします。

①発表資料のチェック

②発表のリハーサル をいつまでに…といった打ち合わせをお願いします。

*1回目のチェックが入るようなスケジュールが良いかと思います。(ビンビンやっちゃってください!!)

【今後の予定】

(探究の日 サロン訪問など)

第6回 課題研究計画発表会 & SSH 運営指導委員会

生徒用 (GoogleClassroom)

会場: 大講義室

内容

①サイエンスツアー予備調査(連絡)

②計画発表会準備

担当の先生とのスケジュールをしっかりと立てましょう!(放課後などを利用して…)

・発表資料チェック

・発表リハーサル

持ち物: 筆記用具、タブレット

2年 探究実践 I 第6回

計画発表会(要項・マニュアル 別紙)

進行台本

開会行事

- 1.ただ今より、『令和 年度長野県飯山高等学校探究科 課題研究 計画発表会』を開催します。
本日、司会を務めます、2年探究科の〔 〕と〔 〕です。よろしくお願い致します。
- 2.学校長あいさつ。 校長先生、お願いします。
→(校長先生しゃべる)→ありがとうございました。
- 3.指導助言者紹介。 校長先生、お願いします。
→(校長先生が紹介)→ありがとうございました。
- 4.生徒代表あいさつ。生徒代表〔 〕さん、お願いします。
→ありがとうございました。
- 5.本日の進行についてご説明します。
本日はポスターセッションにて、研究計画発表を行います。
全〔 〕テーマの研究を、〔 〕テーマずつ前半と後半に分かれて実施します。
発表者の皆さんは、訪れた皆さんに研究計画を説明し、助言者の皆様、発表の順番でない生徒の皆さんは、興味のある研究ポスターで、質問や意見交換、助言をお願いします。活発な議論になるよう、ご協力をお願いします。
質問された皆さんは、その内容を付箋に書き、ポスターに貼ってください。発表者の皆さんは、いただいた意見を今後の研究に活かしましょう。
それでは14:40～、前半のポスターセッションを開始します。準備をお願いします。

閉会行事

- 1.それでは時間となりました。これより閉会行事にうつります。
助言者の皆さまは、お席にお戻りください。生徒の皆さんは、各自のポスター周辺に集まってください。
- 2.それでは、運営指導委員の皆さまより、本日の講評をいただきます。
○○ ○○様、お願いいたします。(先生方より講評)(拍手)ありがとうございました。
○○ ○○様、お願いします。(以下繰り返し)
先生方、ありがとうございました。
運営指導委員の先生方は、16:00より大会議室で運営指導委員会となります。ご移動ください。
生徒の皆さんは、大講義室の座席を戻す作業をお願いします。
以上で、課題研究計画発表会を終了いたします。

スクリーン

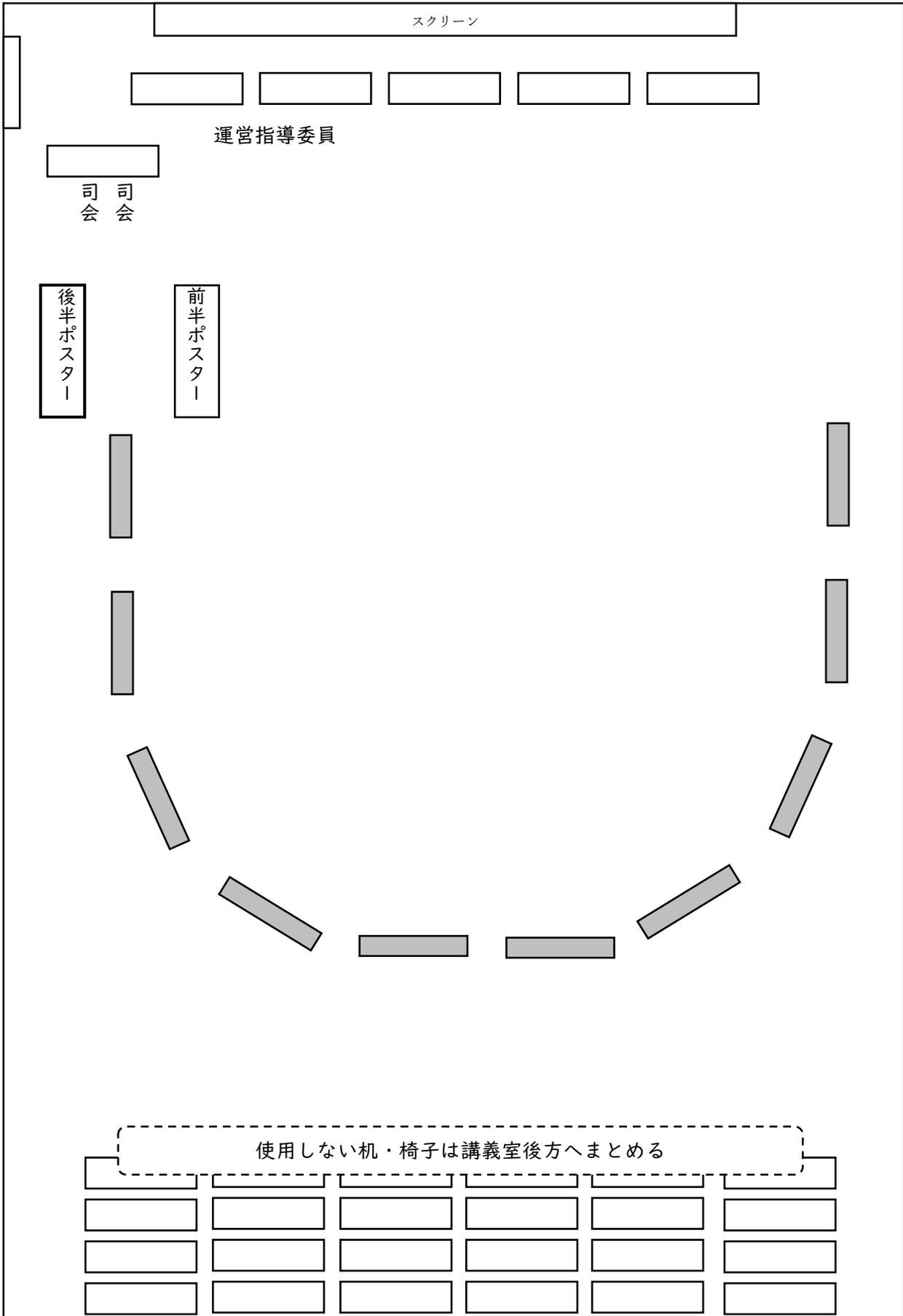
運営指導委員

司 司
会 会

後半ポスター

前半ポスター

使用しない机・椅子は講義室後方へまとめる



指導者用

2年 探究実践 I 第7回

【会場】各研究室

【内容】①各グループ研究スタート

☆使用物品リストの提出をお願いします。

☆ルーブリック評価面談(指導担当グループで)

前回の生徒の自己評価を見ながら、これまでの取り組みの振り返りと先生方からの評価を交え面談し、生徒と現時点での到達点を確認する。

ご指導よろしくお願いします。

②授業終了後【担当者連絡会を持ちます】可能な範囲でお集まりください@化学教室

<内容> ・計画発表会反省

・各研究チームの進捗状況と情報共有

生徒用(GoogleClassroom)

全体会はありません。研究グループごと研究。

<連絡>

☆ルーブリック評価面談(ルーブリック評価を見ながら、担当の先生と短時間面談)

・[報告タイム] 毎時間指導教員の先生と研究の打ち合わせをすること

(授業最初・最後、どちらかだけでも指導教員の所へ行き【今日やること・やったこと】を報告)

・使用物品リストの作成・提出

2年 探究実践 I 第8回

全体会なし 研究グループごと、研究を進める

☆毎時間指導教員の先生と[報告タイム] 研究の打ち合わせをすること

(授業最初・最後、どちらかだけでも指導教員の所へ行き【今日やること・やったこと】を報告)

生徒用(GoogleClassroom)

全体会はありません。研究グループごと研究。

・[報告タイム] 毎時間指導教員の先生と研究の打ち合わせをすること

(授業最初・最後、どちらかだけでも指導教員の所へ行き【今日やること・やったこと】を報告)

指導者用

2年 探究実践 I 第9回

【会場】 大講義室 その後各研究チームで活動

【内容】 ①懇談会&夏休みの実験計画を立てる

- ・夏休み明けに「中間発表会①」あり
- ・懇談会 夏休み中 の実験・調査の結果が中間発表会の主な内容となるので この期間中の計画を立てること
- ・実験室の使用、実験、休日の活動などは「指導教員」立ち合いのもと行うこと
☆指導教員とスケジュールの確認を!

②サイエンスツアーについて

- ・承諾書の提出

【今後の予定】 (保護者懇談会)

第10回

(夏期休業)

第11~12回

第13回 中間発表会

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会はありません。研究グループごと研究。

☆重要☆

懇談会前の最後の授業です。懇談期間中にどれだけ実験が進められるかが重要です。

懇談期間中に実験など進められるよう計画と準備をしましょう!

- ・指導担当の先生とよく打ち合せをすること
- ・実験の際は必ず誰か先生監督のもと行うこと
- ・休日の活動が必要な場合は、指導担当の先生がついていること

☆[報告タイム] 毎時間指導教員の先生と研究の打ち合わせをすること

(授業最初・最後、どちらかだけでも指導教員の所へ行き【今日やること・やったこと】を報告)

生徒用 (GoogleClassroom) ☆別資料として通達

【重要】夏休み中の実験室使用について

夏休み中に課題研究で実験室を使用する場合、下記の点を「必ず守って」ください。

- ・休み中の実験は部活同様に指導担当の先生に（または理科の先生がいればその先生にお願いして）監督してもらって実施してください。
- ・各実験室（物理・化学・生物・地学・自然 2）の入り口の扉に写真のような「使用者リスト」を用意してあります。実験室を使用する際は必ず記入してください。

それでは各チーム頑張ってください！

指導者用

2年 探究実践 I 第10回

【会場】 全体会：大講義室 その後各研究チームで活動

【全体会内容】

①夏休み中の活動について

- ・夏季休業中の活動は部活動等と同じように考えること
→指導担当の先生と活動日や時間帯を確認する（勝手に学校で活動しない）
- ・実験室は指導担当の先生（または理科の先生がいればその先生）に監督してもらって実施
- ・実験室を使用する際は、実験室（物理・化学・生物・地学・自然 2）の扉にある「使用者リスト」に記入

②中間発表会①概要

- ・6・7限で実施
- ・ポスターセッション（40分間×2）
- ・計画発表会と同様、A3用紙で4～5枚程度

③課題研究中間発表会@信大工学部

- ・希望する研究チームは申し出を（中間発表①の内容そのままでも OK）

【今後の予定】 （保護者懇談会&夏期休業）

第11～12回

第13回 **中間発表会①**

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会@大講義室

【内容】

- ①夏休み中の活動について
 - ②9/9中間発表会①について
 - ③10/5課題研究発表会@信州大学
- 連絡が終わったら各自研究へ ☆報告タイム

指導者用

2年 探究実践Ⅰ 第11回

【会場】 全体会&指導者打ち合わせ:大講義室(短時間)

【内容】 (1) 生徒全体会@大講義室

中間発表会① について→要項(別紙)

②課題研究中間発表会@信大工学部(再掲)

(2) 指導者打ち合わせ@大講義室

①中間発表会に向けて

中間発表会の事前事後指導をお願いします。

・発表資料のチェック&発表のリハーサル をいつまでに…といった打ち合わせをお願いします。

②中間発表会当日

探究実践Ⅰ担当の先生方は全員ご出席いただき、発表のご指導をお願いいたします。

(6限授業の先生は、7限から大丈夫です)

*今回は運営指導委員が不在ですので、先生方のチェックが重要です。鋭い質問・意見等のご指導をお願いします!

【今後の予定】

第12回

第13回 中間発表会①

第14回~第20回

第21回 中間発表会② *探Q フェス出場チーム選考

第22回 *物品購入ラスト

12月中旬信州サイエンスキャンプ「全国総文祭予選」&探Q フェスティバル

生徒用(GoogleClassroom)

全体会@大講義室

【内容】

①9/9中間発表会 要項読み合わせ

連絡が終わったら各自研究へ ☆報告タイム

探究科課題研究 中間発表会①(ポスターセッション) 開催要項

SSH 委員会
2年探究実践 I 担当

年間行事予定に予定されている「探究実践 I」(2年探究科)の「課題研究中間発表会」について、下記の通り開催します。

日 程 令和 ()年9月 日()
14:45~ 会場設営
15:00~16:20 中間発表会
16:20~16:35 片付け・反省会
16:45~ 探究実践 I 担当者打ち合わせ

2年探究科授業変更について

6限:2年探「 」→「中間発表会①」に変更

会 場 大講義室

参加生徒 2学年探究科(3・4組)

方 法

①ポスターについて

・課題研究チームごとポスター(A3またはA4を数枚分)を作成し、パネルに掲示する

・ポスターには次の要素を必ず含める

【タイトルで1枚】大きく目立つように!

①研究動機・目的・先行事例

②研究・実験方法 使用器具

③結果・考察(中間報告)

④今後の計画 他

②③が重要!
枚数多くても OK

・当日はポスターを用いて、研究計画を口頭で説明する

②発表について

・研究チームを【前半】【後半】の時間に分けて実施

【助言者・先生方・発表していないチームの生徒】

・興味のあるポスターへ行き、ディスカッション

→話した質問・意見は「付箋」に書き、ポスターに貼っていく

【発表チーム】

・ポスターを訪れた人に、研究計画を説明&ディスカッション

・発表会終了後、ポスターと貼ってもらった付箋ごと、写真に収め

GoogleClassroomへ提出(付箋は Goodjob シートへ集める)

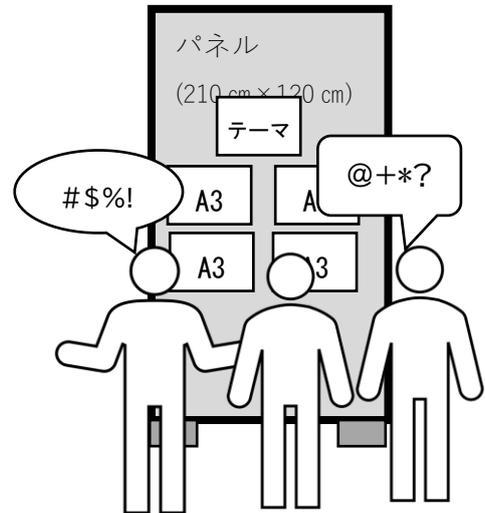
③【注意】資料・ポスター作成について

・先行研究があれば、明記する

・著作物の無断使用はしない(図、写真、イラストなど)

・データなどを引用する際は、引用のルールに従う

(出所の明示、どこからどこまでが引用かわかるように)



③当日のタイムテーブル

時間	内容
14:35	5限終了後、大講義室集合 【準備】大講義室の机・椅子、パネルを会場図の形に移動(生徒) 1枚のパネルの表(前半)と裏(後半)に各チームのポスターを掲示 各チームのポスター付近で待機
15:00	開会行事 *生徒は各チームポスター付近で参加
15:10~15:45	ポスターセッション【前半】35分
	前・後半入れ替え
15:45~16:20	ポスターセッション【後半】35分 *終了後その場で閉会行事・連絡
16:20~	大講義室の机・椅子の復元(生徒) 指導教員と反省会・今後の打ち合わせ
16:45~	探究実践 I 担当者 打ち合わせ

④ 進行台本

【開会行事】

1.ただ今より、『令和6年度長野県飯山高等学校探究科 課題研究 中間発表会』を開催します。
本日、司会を務めます、2年探究科の[○○ ○○]と[○○ ○○]です。よろしくお願い致します。

2.(ゲスト助言者がいれば)本日ご指導いただく先生をご紹介します。

よろしくお願い致します。

→ありがとうございました。

3.本日の進行についてご説明します。

本日はポスターセッションでの発表です。前21テーマを前半と後半に分けて実施します。

助言者の皆様、発表の順番でない生徒の皆さんは、興味のある研究ポスターで、質問や意見交換、助言をお願いします。活発な議論になるよう、ご協力をお願いします。

質問された皆さんは、その内容を付箋に書き、ポスターに貼ってください。発表者の皆さんは、いただいた意見を今後の研究に活かしましょう。

それでは15:10~、前半のポスターセッションを開始します。準備をお願いします。

15:10になったら

ポスターセッション前半のスタートです。どうぞ。

15:45になったら

【前半後半入れ替え】

前半のセッション終了となります。後半のセッションに準備をお願いします。

準備ができたなら、ポスターセッション後半をスタートしてください。

16:20になったら

後半のセッション終了となります。そのまま閉会行事に移りますので、その場で静かにお待ちください。

まず、助言者の()先生より講評をいただきます。

→ありがとうございました。

生徒の皆さんに連絡です。

・パネルに貼ったポスターは GoogleClassroom の指示に従って写真を提出してください。

・大講義室の椅子と机の復元をお願いします。パネルは大講義室の後ろに並べてください。

・片づけ終了後、指導担当の先生のもとで、今日の報告と今後の打ち合わせを行ってください。

以上で、中間発表会を終了します。お疲れ様でした。

指導者用

2年 探究実践 I 第12回

【会場】

各研究室など

【内容】

各グループで研究&中間発表会の準備をすすめてください

(再掲 中間発表会の事前事後指導をお願いします。)

・発表資料のチェック

・発表のリハーサル をいつまでに…といった打ち合わせをお願いします。

○中間発表の要項(確定版)を別紙でご用意しました。よろしくをお願いします。

【今後の予定】

第13回 中間発表会①

第14回~第20回 研究

第21回 中間発表会② *総文祭予選出場チーム選考

第22回 *物品購入ラスト

12月信州サイエンスキャンプ「全国総文祭予選」&探Q フェスティバル

生徒用(GoogleClassroom)

全体会ありません。中間発表の準備を進めてください。☆報告タイム

2年 探究実践 I 第13回

中間発表①(別紙要項参照)

指導者用

2年 探究実践Ⅰ 第14回

【会場】

各研究室など

【内容】

- 生徒…各チームで研究をすすめる
- 先生方…指導者打ち合わせ&情報交換会 15:40~16:00頃 @化学教室
 - ・各チームの進捗状況、情報交換
 - ・10月5日課題研究研修会@信大工 参加チームについて

【今後の予定】

第15回~第20回 研究

10月 課題研究研修会 @信州大学

第21回 中間発表会② *総文祭予選出場チーム選考

第22回 *物品購入ラスト

12月信州サイエンスキャンプ「全国総文祭予選」&探Qフェスティバル

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会はありません。

<連絡>

・[報告タイム]

指導教員の先生に中間発表①の報告と今後の研究の打ち合わせをすること

2年 探究実践Ⅰ 第15~18回

【会場】 各研究室など

【内容】 各グループで研究を進める

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会はありません。各自研究を進める。 ☆報告タイム

指導者用

2年 探究実践Ⅰ 第19回

【会場】大講義室

【内容】

○中間発表②ガイダンス(生徒向け)

日時:11月 日()5~7限

形式:口頭発表(PCでスライド投影)

時間:1グループ 10分発表 5分質疑

備考:12月探Qフェスティバル(また総文祭予選)出場グループの選考を兼ねます

○中間発表②打ち合わせ(指導者向け) *別紙資料をご持参ください

【今後の予定】

第20回 研究

第21回 中間発表会② *総文祭予選出場チーム選考

第22回 *物品購入ラスト

12月信州サイエンスキャンプ「全国総文祭予選」&探Qフェスティバル

生徒用(GoogleClassroom)

全体会@大講義室

【中間発表②ガイダンス】

~実施概要~

日時: 月 日() 限

形式:口頭発表(PCでスライド投影)

時間:1グループ 10分発表 5分質疑

備考:12月 日()探Qフェスティバル(また総文祭予選)出場グループの選考を兼ねます

終了後 各自研究へ ☆報告タイム

課題研究 中間発表会②(セミナー形式)

日時 年 月 日(月)5、6、7限 14:00~16:00 *前後準備時間
 目的 研究の中間発表を行い、情報発信力を高める。もらった助言を今後の研究に活かす。
 方法 分科会に分かれ、パワーポイントによる中間発表を行う。発表時間 10分 質疑応答5分
 各会場の審査の先生方により審査(審査ルーブリックを使用)

当日の流れ 13:40~ 各会場準備
 最初の発表チームからモニター等に接続し発表準備
 14:00 司会により発表開始
 (タイムキーパー、司会進行は発表が終わった生徒が担当)
 *発表 10分、質疑応答 5分
 16:00 すべて発表が終わった後に、審査員の先生方から講評
 ルーブリック自己評価を実施する(右QRコードから)
 終了後、各グループ反省と指導教員への報告

ルーブリック自己評価

QRコード
(クラスルームにも)

会場・審査員配置

会場	班	発表テーマ	指導者 (敬称略)	審査員 (敬称略)
大講義室				()◎
				()
				()
				()
生物教室				()◎
				()
				()
				()
化学教室				()◎
				()
				()
				()

【事前準備】研究要旨の入力とコメント

- ・生徒：研究要旨の入力（Classroom または QR コードから）

メ 切 月 日 ()

☆発表用 PC は USB-C または HDMI 出力の機種とすること

- ・先生方：研究要旨への事前・事後コメント入力

ご協力よろしくお願いします!

研究要旨スプレッドシート

QR コード

(クラスルームにも)

【当日】運営マニュアル

13:40~ 各会場で準備（生徒が行う!!）

【分担】 ・最後の発表グループ→化学室へ発表グッズを取りに行く

・最初の発表グループ→モニターへ PC を接続しておく

・2番目の発表グループ→会場準備・片付けの指示役。審査員席を決め、先生方に座ってもらう

・その他のグループ→指示役に従って会場準備

・各グループで「司会・ベル係」「ストップウォッチ係」を決める

14:00~ 発表会スタート（最初の発表グループはスライドを投影した状態で）

【開会】 司会「ただいまより、令和 年度探究科課題研究中間発表会を始めます。」

「各グループ、口頭発表 10 分、質疑応答 5 分です。会場の皆さんは積極的に質問をしましょう。」

「発表終了後に、審査の先生方から講評をいただきます。それでは、発表にうつります。」

【発表】 司会「〇〇〇〇のみなさんお願いします。」

（ストップウォッチスタート・発表終了まで計測 質疑の時間は除く）

～発表中～ ＊ベルは 8 分で 1 回、10 分で 2 回、15 分で打ち切り

（ストップウォッチストップ 時間を司会者と審査員に伝える）

司会「発表時間は〇分〇秒でした。質疑応答にうつります。質問のある方は挙手をお願いします。」

（10 分以上の発表の場合は質疑の時間をカット）

（発表開始から 15 分を過ぎたら または質問がなければ）

司会「時間となりましたので、ここで質問を打ち切らせていただきます。」

「質問がないようなので、次に移ります。」

「次の発表グループは準備をお願いします。」

☆準備ができたら、以下繰り返し

【休憩】4 グループ発表を終えたら 10~5 分休憩（進行状況に応じて）

司会「発表を再開します。」

☆以下繰り返し

（全グループ終了）

【閉会】 司会「以上ですべてのグループの発表が終了しました。お疲れ様でした。

最後に、審査員の先生方より、お一人ずつ講評をいただきます。

〇〇先生から、お願いします。」

（講評）

司会「ありがとうございました。

生徒の皆さんへ連絡です。

① 会場の片づけを協力して行ってください。（発表グッズは最後の司会担当グループが、化学教室へ返却）片づけ終了後に、以下の作業をお願いします。

② GoogleClassroom にある「SSH 生徒変容調査・ルーブリック評価」の回答を実施してください。

③ 各グループの代表者は、発表スライドを、GoogleClassroom の課題へ添付して提出してください。

④ 各グループの指導担当の先生の所へ行き、中間発表の報告を行ってください。

最終発表会は来年の 2 月です。課題研究に取り組める時間もわずかですので、最後までがんばりましょう。なお、審査結果は明日発表予定です。以上で、中間発表を閉じます。」

【先生方へ】

○事前準備

- ・各発表グループの要旨へのコメントをお願いします(どのグループにコメントしていただいても構いません)
- ・指導いただいているグループの発表指導をお願いします。

○当日

- ・準備、進行、片付けは生徒が行います。審査を担当される部屋ごとに、様子を見ながら、ご指導いただければと思います。 *PC 接続などで手間取ることがあるかもしれませんが、適宜ご対応お願いいたします。
- ・審査ルーブリックに直接得点を記入してください(◎の先生より配布)
- ・最後にお一人ずつ「講評」をお願いします。

・◎の先生

→審査用ルーブリックを会場の先生分お渡ししますので、当日審査員の先生方へお渡しください
(点数はここへ書き込むよう、会場ごと指示をお願いします)

→各グループの発表時間の記入を、審査員を代表して記入をお願いします

→審査終了後、会場の審査員分のルーブリックを回収し、(集計)までお願いします。

☆先生方の審査をもとに、12月探Q フェスティバルの参加チームの推薦を行います。

集計し順位を決め、上位チームを公表しますので、ご承知おきください。

指導者用

2年 探究実践 I 第20回

【内容】 *全体会ありません

各グループで中間発表に向けたご指導をお願いします

・発表スライドの内容確認

・発表リハーサル 併せて、研究要旨のスプレッドシートへコメントなどをお願いします。

【今後の予定】

第21回 中間発表会② *総文祭予選出場チーム選考

第22回 *物品購入ラスト

第23~25回

12月信州サイエンスキャンプ「全国総文祭予選」&探Q フェスティバル

第26~27回 *研究のまとめへ

第28回 *発表リハなど

第29回 探究科課題研究発表会

第30回

3月課題研究合同発表会@なちゅら 代表発表

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会なし。各グループで研究と発表準備

<連絡>

①中間発表②要項をアップ

全員必ず目を通して、同日動けるようにしてください。(ガイドンスはありません)

(GoogleClassroom のリンクを貼り付け)

*発表用 PC の映像出力は USB-c または HDMI 出力のみ可とします。

②指導担当の先生におけて発表リハーサルを! *一度も見せずに発表することがないように!

③12/ ()探Q フェスティバル(課題研究発表会)

この発表会の審査結果をもとに、参加グループを推薦します。

*2月の最終発表会での最優秀チームは

来年度神戸のSSH 生徒研究発表会へ参加となります(全国大会)

神戸を目指してがんばれ!

2年 探究実践 I 第21回

中間発表②(別紙要項参照)

*終了後 生徒変容調査実施

指導者用

2年 探究実践 I 第22～25回

全体会なし

*ルーブルック評価の面談を各グループ実施

クラスルームで今後の見通しを連絡する

・物品購入(12月中)

・12月探Q フェス参加グループの指導

・12月懇談期間中の研究スケジュールを立てるなど

生徒用(GoogleClassroom) 第22回の連絡事項

全体会はありません。各グループで研究を進めてください

物品購入(SSH 予算で)を締め切ります!購入希望があれば至急担当まで

<連絡>

☆ルーブルック評価面談(ルーブリック評価を見ながら、担当の先生と短時間面談)

☆[報告タイム]指導教員の先生と、中間発表②の報告と今後の研究の打ち合わせすること

2年 探究実践 I 第26回

【前半】大講義室 2月課題研究発表会要項・マニュアル読み合わせ(別紙)

【後半】各グループで発表準備へ

☆必ず指導担当の先生に発表練習と事前チェックをしてもらうよう指示してあります
よろしくをお願いします。

生徒用(GoogleClassroom)

全体会@大講義室

課題研究発表会について、要項の読み合わせ。

終了後、各研究へ ☆報告タイム

今後の予定

第27回 要旨入力メ切*発表資料は必ず担当の先生の添削を受ける

(月 日 発表資料提出)

第28回 発表リハを各グループで

第29回 探究科課題研究発表会

令和 年度長野県飯山高等学校SSH探究科課題研究発表会【要項】

SSH 委員会

内容 2年探究科が課題研究発表を行い、教員が審査する。1年探究科が参観する。

日程 年 2月 日 ()

SHR 8:35~8:45

移動・会場準備 8:50

開会行事 9:00~
 ・学校長挨拶
 ・生徒代表挨拶
 ・諸連絡

研究発表 (各グループ 16分:発表 10分、質疑 5分、接続 1分)

9:10~ 6グループ

11:05~ 6グループ

昼食

13:40~ 5グループ

15:20~ 4グループ

開会行事 16:25~
 ・講評(指導担当の先生より)
 ・諸連絡

対象生徒 探究科2年(発表) 探究科1年(参観)

会場 大講義室

審査員 () * 割振り別紙参照

助言者 ()

備考 1, 2年探究科は2月6日(木)終日発表会となります。

LHRを含め、この日の授業を発表会(行事)に変更をお願いします。

変更対象の授業一覧(1, 2年探究科)

	1	2	3	4	5	6	7
1-3							
1-4							
2-3							
2-4							

今後の予定

第26回 発表テーマ確定・要旨入力 → 担当の先生にチェックしてもらう

第27回 要旨入力✕切

発表用スライド提出✕切 * 事前に担当の先生にチェックしてもらう

→ 審査員が事前審査 ※提出に修正も可 事前審査はこの提出物で実施

第28回 (審査員打ち合わせ会 会場:後日連絡)

第29回 課題研究発表会

座席表

大講義室	スクリーン													
		発表者 司会台	司会者	計時										
	審査員席 (5~6名)													
1	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; font-size: small;">次の発表グループ (待機)</td> </tr> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>		次の発表グループ (待機)						
次の発表グループ (待機)														
2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
3	<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">2年生座席 (研究グループごと)</p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 5px 0;">*できるだけ詰めて座ること</p>													
4	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
5	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
7	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
8	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; font-size: 0.8em;">1 - 3 組 (3人掛け・名簿順)</td> </tr> </table>				1 - 3 組 (3人掛け・名簿順)			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center; font-size: 0.8em;">1 - 4 組 (3人掛け・名簿順)</td> </tr> </table>				1 - 4 組 (3人掛け・名簿順)		
1 - 3 組 (3人掛け・名簿順)														
1 - 4 組 (3人掛け・名簿順)														
9	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>				<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>									
#	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>				<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>									
#	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>				<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 33%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>									
#	<p style="margin: 0;">職員</p>													
#	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								
#	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>					<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; border: 1px solid black; height: 20px;"></td> </tr> </table>								

【前日までの準備】

生徒

- 研究要旨 〆切 (GoogleClassroom)
- 発表スライド提出 〆切 (GoogleClassroom) → 事前審査へ
- 当日までに
 - ・発表リハーサル
 - ・発表用 PC の接続を確認 (HDMI または USB-C の出力のみ可能)

探究実践 I 指導担当者

- 2月 日(月)7限 審査員打ち合わせ会
 - ・審査ルーブリック読み合わせ
 - ・スライド資料配布→事前審査
- 当日までに、指導グループの発表リハーサルを実施

【当日】

- 8:35 SHR
- 8:45 移動・着席
 - 1 番目発表グループ→PC を接続しスライドを準備してから待機場所で着席
 - 2 番目発表グループ→待機場所で着席
- 9:00 開会行事

開会行事

司会	ただいまより、令和 6 年度探究科課題研究発表会を始めます。 1. 学校長挨拶 校長先生お願いします
校長	(挨拶)
司会	ありがとうございました。 2. 助言者紹介 []先生お願いします。
先生	(助言者を紹介)
司会	ありがとうございました。 3. 生徒代表挨拶。2年 組[]さん、お願いします。
代表生徒	(挨拶)
司会	ありがとうございました。 本日の進行について説明します。 各グループ、口頭発表 10 分、質疑応答 5 分です。会場の皆さんは積極的に質問をしましょう。 次の発表のグループは、会場前方右側の待機場所で待機してください。 それでは発表にうつります。

研究発表

司会	〇〇〇〇のみなさんお願いします。 (ストップウォッチスタート・発表終了まで計測 質疑の時間は除く) ～発表中～ ・ベルは 8分で1回、10分で2回、15分で打ち切り ・ストップウォッチ 時間を司会者と審査員に伝える
司会	発表時間は〇分〇秒でした。 質疑応答にうつります。質問のある方は挙手をお願いします。 (10 分以上の発表の場合は質疑の時間をカット) (発表開始から 15 分を過ぎたら または質問がなければ) ・時間となりましたので、ここで質問を打ち切らせていただきます。 ・質問がないようなので、次に移ります。
司会	次の発表グループは準備をお願いします。 * 以下、繰り返し

休憩前後

司会	これより休憩となります。 〇〇:〇〇より再開します。 (休憩) * 司会交代
司会	(2 分前くらいに)間もなく再開します。着席をお願いします。 (時間になったら)それでは発表を再開します。 * 繰り返し
司会	以上ですすべてのグループの発表が終了しました。お疲れ様でした。 最後に、審査員の先生方、助言者の先生方より、お一人ずつ講評をいただきます。 〇〇先生から、お願いします。 (講評)

閉会行事

司会	<p>ありがとうございました。 先生方には長時間にわたり審査いただきました。ありがとうございました。 拍手をお願いします。 生徒の皆さんへ連絡です。</p> <ul style="list-style-type: none">・審査結果と、3月 日なちゅらでの全学科合同発表会、来年度 SSH 生徒研究発表会での発表グループについては、後日発表となります。・GoogleClassroom にある「SSH 生徒変容調査・ルーブリック評価」の回答を実施してください。・各グループの代表者は、発表スライドを、GoogleClassroom の課題へ添付して提出してください。・実験ノートを提出してください。化学準備室前の廊下が提出場所です。・グループごと、指導助言をいただいた先生方や、外部の方への報告を行いましょ。
司会	<p>以上で、探究科課題研究発表会を終了します。 長時間お疲れ様でした。</p>

指導者用

2年 探究実践 I 第27回

全体会なし

【内容】

・各グループ、指導担当者による発表資料の確認と添削 →資料事前提出は 月 日
下記2点ご指導お願いします。

- ・研究要旨メ切（本日）
- ・発表リハーサルのスケジュールリング

【今後の予定】

第28回 審査打ち合わせ会

第29回 探究科課題研究発表会

3月課題研究合同発表会@なちゅら 代表発表

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会はありません

- ・研究要旨入力メ切（本日）（入力先リンク）
- ・発表資料（スライド等）の添削やリハーサルを、指導担当者の先生にお願いする
発表資料メ切 / （木）

☆報告タイム

【今後の予定】

月 日 発表資料提出

第28回 発表リハを各グループで（指導者打ち合わせ同時実施中）

第29回 探究科課題研究発表会

2年 探究実践 I 第28回

全体会なし

【内容】

生徒 発表準備・リハーサル等

教員 審査打ち合わせ会@（ ）

【今後の予定】

第29回 探究科課題研究発表会

3月課題研究合同発表会@なちゅら 代表発表

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会はありません

各グループで発表リハーサル等実施

2年 探究実践 I 第29回

課題研究発表会（別紙要項参照）

*終了後 SSH 生徒変容調査実施

指導者用

2年 探究実践 I 第30回

生徒

【前半】大講義室

連絡：今後について

- ①発表スライド提出：発表に使った最終版を提出
- ②片付け：実験で使ったものをすべて片付け
- ③ポスター制作について
- (④信州サイエンスミーティング 参加グループへ)

【後半】各実験室で片付けなど

教員

【前半】大講義室

【後半】片付け指導・担当グループのルーブルック評価面談 指導担当者打ち合わせ（成績他）

生徒用 (GoogleClassroom)

全体会@大講義室

今後の作業

- ①発表スライド提出：発表に使った最終版を提出してください(添付して提出)
- ②片付け：実験で使ったものをすべて片付けましょう
- ③ポスター制作 (3/ なちゅら発表会で掲示)
 - ・スライド張り合わせの場合 印刷後、大きい一枚になるように張り合わせる
 - ・A0 サイズで作成の場合
 - ・パワーポイントまたはスライドで
 - ・ページ設定→カスタム→84.1cm × 118.9cm
 - ☆メ切3/ ()
- ④ルーブルック評価面談を実施